

## 伊東俊太郎先生の学問的遺産

三浦伸夫

miuranob@kobe-u.ac.jp

The Academic Legacy of Late Professor ITO SYUNTARO

Organizer: MIURA NOBUO

伊東俊太郎先生は2023年9月20日93歳で永眠されました。92歳で『人類史の精神革命』中央公論社)を刊行され、最期まで研究に向かわれました。先生は東京大学、国際日本文化研究センター、麗澤大学で研究・教育に携われ、研究することの面白さや奥深さを多くの人に教えてこられました。さらに日本科学史学会会長を平成13年5月から21年5月まで務められ、学会に貢献され名誉会員でもあります(他に会長職は、地球システム倫理学会、日本記号学会、比較文明学会、国際比較文明学会などで歴任)。先生から直接学んだだけではなく、多くの方が『近代科学の源流』『十二世紀ルネサンス』などの著作や論文などを通じて先生の研究に親しむ事もあったでしょう。しかし先生のなされた仕事は科学史のみならず、比較文明論、さらには日本学、環境学などあまりに幅広く、全体像を掴むのには時間を要します。本シンポジウムでは、あまり知られていないエピソードなどもまじえ、先生から何を学んだかなどを紹介して頂き、登壇者にそれぞれの立場から先生の科学史上の業績を振り返っていただきます。また会場の皆様からは先生の仕事に関して情報を提供していただければ幸いです。以上から、先生の学術的遺産をどのように受け継いでいくのがよいのか、残された問題はなにかなど、今後の科学史研究のあり方を考える機会を提供できればと思います。

伊東先生の業績(一部)のリストは『伊東俊太郎著作集』全12巻(麗澤大学出版会、2008-10年)の第11巻に収録されています。

### 【シンポジウム・プログラム】

13:30-13:50	要旨説明および業績紹介	三浦伸夫(神戸大学名誉教授)
13:50-14:10	伊東俊太郎氏から何を学んだか	高橋憲一(九州大学名誉教授)
14:10-14:30	教育者としての伊東先生	楠葉隆徳(大阪経済大学名誉教授)
14:30-14:50	科学史と言語	鈴木孝典(東海大学元教授)
14:50-15:10	学問的遺産とは少し離れた観点から	小川真里子(三重大学名誉教授)
15:10-15:20	休憩(質問用紙回収)	
15:20-15:30	科学の世界史	三村太郎(東京大学大学院准教授)
15:30-16:00	質疑応答・総合討論	